

競技注意事項

(1) 競技規則について

本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

(2) 招集について

1. 招集所は、バックスタンド裏の北側（掲揚台の北側）に設ける。
2. 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
3. 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者系の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取る。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所に用意した書類で届ける。
 - ③ リレー競技は、オーダーの変更にかかわらず、その都度リレーオーダー用紙（招集所に用意）に 1 チームにつき 1 部記入し、招集完了時刻の 1 時間前までに、招集所（競技者係）に提出すること。提出のない場合は欠場するものとして処理する。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者／チームは、出場できない。

(3) 競技の抽選及び番組編成について

1. トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順による。
2. トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、**ウェブ上に掲示する**。
3. タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が 0.001 秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。
4. それでも決定できない時は抽選とする（TR21.2）

(4) 競技について

① トラック競技について

1. トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
2. レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
3. 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
4. TR16.8 により、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。

② フィールド競技について

1. 投てき競技の計測は光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。

2. 跳躍及びやり投げの競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで使うことができる。また、サークルから行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークルの外側に使用することができる。
3. 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
4. フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
5. 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの地点に設置する。
 - ③ 競技者は勝手に競技場を離れること、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーパーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない（TR6.3.2）。競技場内に持ち込まれるバッグの中身は招集所で確認される。
 - ④ 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。

警告はイエローカード（スタートについては黄黒（斜め半分形）色）、除外はレッドカード（スタートについては赤黒（斜め半分形）色）を示すことによって競技者に知らされる。
 - ⑤ 競技者の棄権は原則として代表者会議で受け付けたもののみとする。当日やむなく棄権する場合には、欠場届（招集所に用意）を該当校監督署名捺印の上、招集所（競技者係）に提出すること。届け出たその種目に限り棄権を認める。また、リレー競技の棄権については、招集完了時刻までに欠場届（招集所に用意）を招集所（競技者係）に提出すること。オーダー提出前に棄権するチームは欠場届を招集完了時刻1時間前までに提出すること。
 - ⑥ アスリートビブスは、2023年度東北学生陸上競技連盟登録番号とする。跳躍種目については、背または胸につけるだけでもよい。トラック競技はすべて、招集の際に配布する腰ナンバー標識を使用し、右腰やや後方に取り付けること。以下の種目では、**前面のみに特別ビブスを使用する**。

男子：5000m・10000m・3000mSC
女子：5000m

特別ビブスを配付される競技者は、招集所での点呼の際は、正規ビブスは着用せずに持参する。招集所で特別ビブスを着用すること。腰ナンバー標識と特別ビブスは招集所で配布し、フィニッシュ地点で回収する。

(5) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまで次の通りとする

(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

種目	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳 (男子)	1m70 1m80	1m75	5cm ずつ	2m00	2m03	2m06	3cm
走高跳 (女子)	1m35 1m45	1m40	5cm ずつ	1m65	1m68	1m71	3cm
棒高跳	任意の高さ	3m60	20cm ずつ	4m20	4m30	4m40	10cm

高さを競う跳躍競技で、ジャンプオフ（第1位決定戦）で決着がつかない場合、その上げ下げの幅は、走高跳で 2cm、棒高跳で 5cm とする。

(6) 競技用具について

競技用具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んで서는ならない。

ただし、やり投及び棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができる。なお、個人所有のやりを使用する場合は、その競技開始 1 時間前に競技役員の検査を招集所にて受けること。

(7) 競技用靴について

スパイクピンの長さは、9mm 以内、走高跳・やり投は 12mm 以内とする。

いずれの場合もスパイクピンの数は、11 本以内とする。

靴底の厚さは TR5.2 のとおりとする。

(8) 結果発表と抗議について

1. 各種目の結果発表は、アナウンスおよび記録掲示板で行う。(アナウンスを発表時刻とする。)
2. 発表された結果に対する抗議は、TR8.2 に定められている時間内(同一日に次のラウンドが行われる場合には 15 分以内、それ以外は 30 分以内)に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行う。さらに、この裁定に納得できない場合は、預託金(1万円)を添え、総務に文書で申し出る。

(9) 表彰及び対校得点について

1. 各種目 **8 位までの入賞者**には、表彰状を授与するため各自本部に取りに行くこと。表彰は、競技終了してから約 30 分後に行うので、**上位 3 名の入賞者**は表彰係の指示に従うこと。
2. 対校得点は、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点以下、5、4、3、2、1 点とする。
3. 最多得点校が 2 校以上ある場合、優勝数の多い方を上位とする。

(10) 一般注意事項

1. 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに反したものについては主催者で処置する。
2. 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、救護室に連絡する。
3. 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
4. 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
5. ユニフォームは各大学一種のものに統一して着用すること。
6. 競技者の付き添いは一切認めない。したがって、競技者以外は、トラック並びにフィールド内に立ち入ることはできない。
7. 器具破損の場合は、当該競技者の所属大学より原状回復費用を徴収する。
8. 集団応援は、サイドスタンド及びバックスタンドの中段通路より上の場所のみ許可する。ただしフィールド競技においては、試技を開始しようとしている競技者がいるときは応援を自粛する。
9. ゴミは原則各自持ち帰ること。
10. 開場時刻は、8月31日(木)14時00分、9月1日(金)7時00分、9月2日(土)7時00分である。

(11) ウォームアップ場（練習会場）の使用について（練習会場注意事項）

練習は係員の指示により、別ページの「練習会場の使用について」のとおり行うこと。

NDスタジアムでは、競技準備が行われるので注意すること。

1. 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
2. 荷物などは、個人が責任を持ち管理する。
3. 雨天走路は原則として開放しない（狭い雨天走路での事故防止が目的のため）。ただし、荒天時のみ、雨天走路をジョグとストレッチに限って開放する場合がある。投てき会場では危険が伴うので十分注意して行うこと。なお、使用する投てき用具は各自持参すること。
4. 各練習会場のトラックのレーン内において、次の行為を禁止する。
ミニハードルなどの練習用具をレーン上に置いての練習／チューブやロープ等でけん引する練習
逆走
準備運動、ドリル等の技術練習／急に減速したり、立ち止まったりする行為
不用意にレーンを横切る行為

練習会場の使用について

1. 使用日程

- ND ソフトスタジアム山形(メイングラウンド)

	トラック競技	跳躍競技	投てき競技			
			砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
8月31日(木)	14:00～17:00		練習禁止			
9月1日(金)	7:00～9:00					
9月2日(土)	7:00～9:00					

- サブグラウンド

	トラッ	跳躍	投てき競技					
	ク競技	競技	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投		
8月31日(木)	14:00～17:00		14:00～17:00		練習禁止			
9月1日(金)	7:00～16:45		7:00～9:30 ハンマー投終了後～14:30				練習禁止	
9月2日(土)	7:00～14:30		7:00～9:00				男女 7:00～9:00	

● 運動広場

	トラック	跳躍	投てき競技			
	競技	競技	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
8月31日(木)	練習禁止	練習禁止	男女 14:00～17:00			練習禁止
9月1日(金)			練習禁止	男女 7:00～9:30	男 7:00～14:30	
9月2日(土)			練習禁止			

・各種目の練習については、安全を考え十分に注意し、各学校の監督の責任において行ってください。

・大会参加者のアップ・ダウン及び調整練習のみの使用にしてください。

・危険防止のため、競技が終了した種目については、練習禁止とします。

・競技場が狭く事故につながる危険性があるため、レーン内での次の行為は禁止とします。

- ① ミニハードルなど道具をレーン上に置いての練習
- ② チューブなどで牽引して走る練習
- ③ 逆走
- ④ フィールド内でのドリルやジョグなどの技術練習や準備運動
- ⑤ 急に立ち止まる行為

2. レーンの使用区分

競走路の使用は、原則として以下の通りとする。

各レーンとも、第4コーナーからホームストレートの交点付近は危険なので、特に注意すること。

<ND ソフトスタジアム山形のレーンの使用区分>

- ・周回 1～2 レーン：中・長距離（800m 以上の種目）
- ・周回 3～7 レーン：短距離（100m～400m）、リレーの種目
- ・8～9 レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400m ハードル

- ・6~7レーン（ホームストレート）：スターティングブロック設置可
- ・8~9レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル
- ・ただし、当日の競技種目により、レーンの使用区分を変更する場合もある。

<サブグラウンドのレーンの使用区分>

- ・周回1~2レーン：中・長距離（800m以上の種目）
- ・周回3~4レーン：短距離（100m~400m）、リレーの種目
- ・5~6レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
- ・4~6レーン（ホームストレート）：スターティングブロック設置可
- ・7~9レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル
- ・ジョギングは、トラック外側の芝生帯で行うこと。ただし、当日の競技種目により、レーンの使用区分を変更する場合もある。